

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
2	森田 賢	使用教科書 「情報Ⅱ」（日本文教出版）
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 ○自由選択		

◆学習の目標

- ・情報Ⅰで習得した内容を踏まえて、情報技術について主に実習を通じて学習し、人工知能（AI）やネットワーク、情報セキュリティ等の情報技術を活用することができる。
- ・統計的な手法や数理モデルを理解し、シミュレーションを行うことにより、大量のデータを収集しデータを分析する技能を身につける。
- ・情報デザインの技術を活用し、ユーザの目的に応じて手法を選択し、情報を発信することができる。

◆主な学習内容・方法

以下の内容を学習する。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| (1) 情報社会の進展と情報技術 | (2) コミュニケーションと情報デザイン |
| (3) 情報とデータサイエンス | (4) 情報システムの開発と運用 |
| (5) 情報技術を活用した問題解決 | |

◆到達目標と観点別評価の評価規準

〔標準〕

情報システムやデータサイエンス、コンテンツ制作等の情報技術を習得し活用することができる。

〔発展〕

自らの興味・関心に基づいて、情報技術を活用した探究活動（問題解決）を行い、実際に動作する情報システムや高度なデータ分析を完成させることができる。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

データサイエンスや人工知能、情報システム等、最新の情報技術について体系的に理解し、適切に活用することができる。

○思考・判断・表現

情報技術を適切に組み合わせて、問題を解決するための方法を論理的に判断することができる。目的やテーマに応じて、適切な問題解決手法やデータ分析手法を選択し、ICT を用いた成果物やレポートで表現することができる。

○主体的に学習に取り組む態度

新たな技能や知識を積極的に取り入れ、情報セキュリティの確保や法令を遵守し、情報技術が社会に与える影響を踏まえて、主体的に情報技術を取り扱うことができる。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期（26 時間）	2 学期（28 時間）	3 学期（16 時間）
------	-------	-------------	-------------	-------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・授業の形態：CALL 教室で授業を行う。教科書および実習課題で学習する。
- ・持ち物：教科書、タブレット
- ・宿題・課題：授業中に指示する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	○情報社会の変化と 情報技術	6	○情報技術の進展と社会の変化 ○情報モラルと知的財産権	○情報技術が社会に与える影 響を分析し、倫理観を持って 情報技術を活用することがで きる。
	5	○コミュニケーション と情報デザイン	8	○コンテンツ制作実習	○情報デザインやコミュニケ ーションを理解し、目的に応 じたツールを選択し情報発信 することができる。
	6	○ネットワークと情 報セキュリティ	14	○TCP/IP の設計と運用 ○情報セキュリティ演習	○プロトコルを活用してネッ トワークを設計することがで きる。
	7				○情報セキュリティ技術を理 解し、インシデントに対応で きる能力を身につけることが できる。
2 学期	8	○情報とデータサイ エンス	14	○データサイエンス実習 ○モデル化とシミュレーション	○統計的な手法（回帰分析・ 多変量分析等）や、モデル化 とシミュレーションの仕組み を理解し、データを分析する 能力を身につけることができ る。
	9				
	10				
	11	○情報システムの開 発と運用	14	○情報システム実習	○プログラミングやデータベ ース、情報通信ネットワーク を組み合わせ、情報システ ムを構築することができる。
	12				
3 学期	1	○問題解決	16	○情報技術を活用した問題解決	○情報Ⅱで習得した情報技術 を活用して、目的やテーマに 応じた問題解決を行うことが できる。
	2				
	3				